

各 位

会 社 名 株式会社ジパング・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 田 端 一 宏
(J A S D A Q ・ コ ー ド 2 6 8 4)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 亀田 学
(T E L : 0 3 - 5 4 6 8 - 3 6 9 1)

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 6 月 30 日に東海財務局長へ提出いたしました平成 22 年 3 月期の内部統制報告書に重要な欠陥がある旨を記載いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 重要な欠陥の内容

当社は、財務経理部において、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表及び財務諸表を作成するための全社的な内部統制及び全社的な観点で評価する決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備及び運用が不十分であったため、当事業年度末の連結財務諸表及び財務諸表について、監査人より複数の誤謬について指摘を受けました。

これらは、いずれも、決算処理の正確性を検証する適切な内部統制が整備できなかったことに起因するものであり、具体的には、必要な決算処理や適切な開示に関する十分な会計基準の理解不足と、経験を有した人材の不足、及び上位者による十分なレビューが実施できなかったことによるものであります。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

これらが事業年度の末日までに是正されなかった理由は、海外の子会社を有している企業との合併や一部事業の譲渡などの施策実行が重なり、決算・財務報告プロセスに係る適切な内部統制への対応に必要な知識の習得と体制整備及び運用ができなかったためであります。

なお、監査人より指摘された複数の誤謬は、いずれも適切に修正しており、連結財務諸表及び財務諸表に及ぼす影響はありません。

3. 重要な欠陥の是正策

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、財務経理部の人員及び能力の不足の解消に努め、翌事業年度においては、適切な内部統制を整備し運用する方針であります。

4. 財務諸表上の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上